

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

事務事業コード	133708		※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。												
事務事業名	共同利用施設保全事業							担当部局・課	市民部 まちづくり課			評価結果 B 上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。			
事業内容	共同利用施設は航空機騒音による障害の緩和および地域住民のコミュニティ活動の推進をはかるために、昭和42年の神津センター竣工より随時、建設に至っている。現在、75施設があり、相当の年数が経過してきている。毎年、計画的な保全計画に基づく改修と維持管理のための修繕をする。							事業開始(予定)年度							
								平成12年度							
								事業終了(予定)年度							
								—							
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現												
		項目	きめ細かな地域福祉の推進												
		施策	総合的なコミュニティ施策の推進												
⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。															
事業の目的	屋根防水改修15年、外壁塗装15年、内部改装25年、照明器具改修25年、変電設備改修31年、空調機器改修15年、各種ポンプ類更新20年、給配水管・受水槽改修25年を一定の目途として保全改修を実施し、施設の円滑な利用を確保する。併せて、施設のバリアフリー化を計画的に実施する。（日常修繕は含まず。）							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) 共同利用施設管理運営費 (目) 共同利用施設管理費					
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)							
	事業費	40,946千円	財源内訳					事業費	90,570千円	財源内訳					
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—			
			市 債		5,600千円					市 債		33,500千円			
			その他(使用料等)		10,200千円					その他(使用料等)		8,883千円			
			一般財源(市税等)		25,146千円					一般財源(市税等)		48,187千円			
	投入人員	1.00人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	1.00人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					
	人件費	8,566千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	8,566千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					
	経費合計	49,512千円							経費合計	99,136千円					
活動指標	指標名(単位)	改修施設数（施設）						計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度				
	意味・算式等	計画的な改修計画の達成度							計画値	5	5				
									実績値	5					

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。